

実施スケジュール～市町村（地域）公募から第18回「聞き書き甲子園」開催の流れ～

2018年6月28日～9月28日 協力市町村の公募

※10月末に全国で10～12の市町村を選定

2019年2月末

選定された市町村から5～8名の「名人」推薦書を提出

※実行委員会と調整を行い、3月下旬には「名人」を決定

名人とは・・・林業、水産業、工芸など、地域の自然と関わる仕事に長年従事し、先人からの知恵や技（わざ）を受け継いできた方です。

第18回（平成31年度）「聞き書き甲子園」開催スケジュール

[2019年] 5月～6月

高校生募集



8月中旬

事前研修会（都内）



9～12月

名人への取材・作品づくり



[2020年] 3月中旬

成果発表会（都内他）



参加高校生が東京に集まります。「聞き書き」の手法や取材する地域や名人の仕事について学びます。



高校生が名人を訪問し、一対一で取材し、作品にまとめます。
[2回程度の取材を予定]



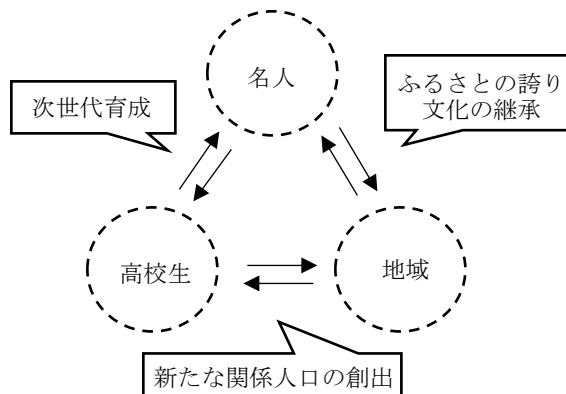
高校生が「聞き書き」を通して学んだことや、取材した地域の魅力を発表し、将来の夢や希望を語ります。

高校生と名人の出会いは、地域の元気につながります

「名人」が語る人生や地域のことは、高校生にとって、はじめは「他人ごと」かもしれませんが、しかし、作品をまとめる過程で、名人や地域への共感が生まれ、「自分ごと」に変わっていきます。「森が泣いている」「村が寂しくなった」と語る「名人」への思いから、里山里海の保全や地域活性化などに取り組む卒業生の活動も生まれました。

また、社会人となって、農山村地域にI・Uターンする若者も増えています。

「聞き書き甲子園」は、祖父母の世代から孫の世代へと、その知恵や技のみならず、心をつなぐ活動です。



広がる地域づくりの輪



聞き書きを終えた高校生と地域住民が協働で地域活性化などに取り組むアクションも積極的にサポートしていきます。